

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	ドアの施錠はしない方針で実行している。車椅子などの高速は事例がないが、ベッド柵は転倒・転落防止などの安全面を優先している。	職員一人ひとり身体拘束をしないケアの意味、なんとなく知っているという状態を、確実に知るようにする。また必要なときは回りにも説明が出来るようにする。	「身体拘束ゼロへの手引き」「身体拘束禁止の対象となる具体的な行為」について勉強会をする。現在行っているケアの中で禁止となる行為がないかを調べる。	12ヶ月
2	6	不適切なケアを感じた時その都度話し合い・注意をしている。	職員個々虐待防止について基礎知識をしっかり身につけ、実行できる。	利用者様の人権、虐待防止の基礎知識から勉強会をする。内外研修への参加。	12ヶ月
3	17	ハード面での充実はしているが地域との連携が乏しい。	地域との連携連絡網を作る。	地域の会議等に参加して方法の助言を頂く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。